

CLEAN WATER PROJECT

諏訪湖の取り組み



長野県ローイング協会
理事長 木下芳樹

はじめに CLEAN WATER のテーマに関連して

- 長野県 諏訪湖でのローイング環境改善への取り組み
- 地域と協力した水辺環境保全活動の展開
- 「泳げる諏訪湖」実現への活動と協力

主な活動内容

1. 近年 大量に繁茂する水草の刈り取り活動
2. ブイの洗浄作業
3. 諏訪湖クリーン祭への参加
4. 諏訪湖創生プロジェクトへの参画

水草刈り取り活動

- 水質改善・・・ 秋に枯れて腐敗し、水質悪化、悪臭を放つ前に排除する
- ローイングの安全確保・・・ 水草による艇進行の不安全を改善する
⇒毎年8月に実施



ブイ洗浄作業

- ・ローイングコースの安全の確保・・・ ブイに付着した藻の洗浄により
コース視認性・美しさの向上
⇒毎年11月に実施



諏訪湖クリーン祭への参加

- ・地域と連携した清掃活動に参加・・・ 水辺を美しく ゴミ拾い
⇒練習を中断し全員参加

下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会

第43回 諏訪湖
クリーン祭

令和6年 8月11日(日) 7:00~10:00 祝日

場所/みずべ公園 こうえん

※湖岸清掃は赤砂崎公園駐車場または博物館駐車場に集合



湖岸清掃

7:00~7:45

赤砂崎公園駐車場または博物館駐車場の2か所から「みずべ公園」に向かって清掃します。
ゴム手袋や長靴等は各自でご用意をお願いします。
トンク、ごみ袋は用意しております。

みずべのごみ調査隊にご参加ください！

諏訪湖にはどんなごみがどれだけ落ちているかな？
湖岸清掃をしながら、みんなで調査してみよう！
※当日の清掃時に調査票を配布します。



「諏訪湖創生ビジョン」への参画

・行政との連携活動・・・ 泳げる諏訪湖をめざす長野県 諏訪地域振興局による
推進プロジェクトに参加・協力
⇒諏訪湖のローイングの発信の機会としても期待



諏訪湖通信75号

令和6年9月20日号 発行:諏訪湖創生ビジョン推進会議



8月23日(金)、下諏訪町赤砂崎の砥川河口付近で阿部知事が諏訪湖を遊泳しました。当日の諏訪湖は雲がなく最高気温30℃を越える真夏日でまさに遊泳日和でした。阿部知事は今年4月に全線開通した諏訪湖サイクリングロードを自転車に乗って会場に到着。

遊泳前に、既に何度も諏訪湖を遊泳している共田武史県会議員から「諏訪湖を実際に泳ぎ、まずは諏訪湖を楽しんでほしい。また肌で感じることで見えてくる課題を認識してほしい」とご挨拶があり、宮下克彦議員、丸茂岳人議員、竹花諏訪地域振興局長、胡桃諏建設事務所長の計6人が諏訪湖を遊泳しました。



(諏訪湖から手を振る様子、中央:知事) (サイクリングの様子)

また、コースタルローイング競技日本代表の原織江選手と一緒に知事がローイング艇を楽しむ場面も見られました。遊泳後、知事からは「改めて諏訪湖の可能性を感じた。一方で泳げる場所として整備(湖底の状態や水辺環境等)の必要性も認識できた。水の中でも魚も人間も楽しめる“諏訪湖”を目指して、流域市町村と協力して推進していきたい」とお話がありました。



(コースタルローイング艇) (遊泳後、知事と自民党県議の皆様)



阿部長野県知事が諏訪湖を遊泳 泳げる諏訪湖を発信

活動の成果

- ・漕艇場内の水草の大量繁茂が抑制されている
- ・美しい湖岸・水辺環境が維持されている

漕艇場(下諏訪ローイングパーク)エリアは、刈取り作業の持続により水草(ヒシ)の大量繁茂が抑制されている。



図 5.5 ヒシの刈取範囲 (2022年)

今後の展望

- 諏訪湖のローイング環境を美しく、持続的に守る
⇒ 漕いでみたくなる諏訪湖「下諏訪ローイングパーク」
- 泳げる諏訪湖をめざして整備される砂浜を活用すればコースタルローイング会場としてもポテンシャル有り



2021年 第41回 全日本中学選手権競漕大会



下諏訪町 赤砂崎に覆砂され整備された砂浜エリア

